



文化祭 (公民館まつり)

今年は、11月17日～24日に開催予定

- ★文化・芸術展
- ★芸能大会
- ★農産物の展示即売会
- ★同好会の発表 など

図書室

- ★新着図書はP.8に掲載
- ★貸し出し本5800冊
- ★リサイクルコーナー(ロビー)
図書室の不要になった本を差し上げます。

地区市民委員会専門部

- ★福祉部
 - ★安全部
 - ★スポーツ健康部
 - ★環境部
 - ★文化広報部
 - ★青少年育成部
- (各町内より各部一名選出された専門部員で構成)

同好会

- ★講座から発足した同好会
現在、体育系15団体、文化系25団体(会員総数約570名)
- ★今年度新設同好会
アロマ同好会

チャレンジクラブ

- ★四年生以上中学生まで30名がさまざまな体験にチャレンジ
- ★後期の活動
絵手紙作成、筑波山登山、プラネタリウム見学、文化祭参加など

社会福祉協議会

- ★福祉の総合相談
- ★宅配型食事サービス
- ★会食型食事サービス
- ★調理・宅配ボランティア募集中
- ★車椅子の貸出し など

公民館運営委員会 【市民委員会】

- ★委員長羽生佐洪さん以下各地区長、市民委員会専門部長、真小校長、二中校長、高齢者クラブ会長、福祉協議会真鍋支部代表、農家組合長、地区内青年会会長等で構成

37号

平成25年9/1
二中地区市民委員会
文化・広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553

公民館講座 【後期】

- ★楽々クッキング
- ★古典芸能に親しむ!
(文楽編)
- ★ムービングストレッチ
- ★はじめて楽しむ
バードカービング
- ★山ガール～入門編～
- ★書道



二中地区公民館
(コミュニティセンター)
館長 野中 侑起男

この度、浜田前館長の後任として、二中地区公民館館長に就任致しました野中と申します。

重責である館長を務めることになりましたが、やはり二中地区在住の皆さんが生きがいを感じる公民館活動を推進してまいりたいと考えております。

公民館活動とは、住民の皆さんが自分の好きなこと、あるいは趣味を生涯学習として楽しみながら続けて行くことによって生きがいを感じることだと思えます。

そして、その活動を市民委員会などの地域の活性化のために生かしていただき、明るく楽しい、そして、住みよい町をつくっていかねばと思っております。

今後とも、皆さんのご理解とご協力をいただきながら楽しい二中地区の公民館活動を進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

二中地区 地区長紹介(1)

町内を束ねる地区長を、四町内ごとに、「やすらぎ37・38・39・40号」で、順次ご紹介していきます。



真鍋一丁目
山口卓三
趣味：スポーツ観戦

当町内の交流の場として借用していた鉄筋四階建ての建物も大震災後危険だとして取り壊しを余儀なくされました。公民館のない不便さは、言葉に表せないものです。住民全員の要望だった公民館建設に向けて、平成二十三年十月に市の建設補助金交付申請の為に建設準備委員会を設立、建設構成員名簿を作成、署名を集め、町内会の法人化となりました。土地購入、建設物の設計、見積もり等を取りそろえて申請書を提出、承認されました。資金は町内会、町内任意団体からの寄付金、個人からの篤志寄付金等、町内全員の協力により調達できました。場所は関東鉄道本社北側に、七月末に完成しました。



真鍋二丁目
堀武
趣味：スポーツ観戦

真鍋二丁目は、真鍋ブロックの南西方向に位置する新興住宅地です。二中地区内の多くの行事参加はもとより、町内最大の行事は、「真鍋二丁目花見会」です。新川沿いに咲き誇る自慢の桜をめぐる行事として四月の第一日曜日に開催しています。開催日には真桜会（青年会）、二桜会（高齢者）、婦人部、子ども会、育成会等全員参加で行われます。焼きそば、ポップコーン、甘酒、子供達へのプレゼント等は子供達との交流の場にもなっており、町内の親睦を図る最大のイベントです。また、桜の時期の土・日曜日は公民館屋上の開放を行います。屋上からの新川堤の桜は最高です。是非一度おいで下さい。



真鍋三丁目
皆藤嘉宏
趣味：お酒、釣り
封筒再生、読書

当町内は四月現在、一三三三世帯、四九三人で、若い層が少なく子供が増えない典型的な少子高齢化地域です。しかしながら往年の繁栄の中心地であった歴史を誇りとして真鍋地域の一層の発展のために協力・参画している町内です。イベントの一つとして冬の「鍋まつり」を四年前より定例化しました。大鍋での豚汁の振る舞いの他、余興としてこれまでにギター、尺八の演奏、音楽会、紙芝居、マジックショー等を行い、町の活性化を目指しています。そろそろネタも切れかかっていますので、趣味、得意技のお披露目の場として、隠れた才能の持ち主を探しています。皆様方の情報をお待ちしています。



真鍋四丁目
勝間田貞美
趣味：写真

真鍋四丁目は若い町で、町民の出身地は全国各地です。町内には天然記念物の桜で名高い真鍋小学校、重要文化財の旧本館を持つ名門土浦一高と千二百年の歴史を誇る真鍋の鎮守様鹿島神社があります。神社では元旦祭、節分祭、例大祭、七五三祭と節目の行事があり、特に夏の例大祭は盛大な祭で、九町内が一体感を感じる最も重要な行事です。六月から、この神社の境内を五月会（高齢者の会）の呼び掛けで有志が集まり清掃を始め、子供からお年寄りまで共同作業で汗を流しています。昨年、土浦市から災害時要援護者支援モデル地区に指定されました。祭りや行事を通して絆を深め安心して住める町を目指したいと思います。

真鍋五丁目
真鍋六丁目
西真鍋町
東真鍋町
殿真鍋新里

羽生 佐洪
大川 勝巳
高橋 和興
軽部孝次郎
和知 五月
菊田 和男

木田余町
木田余東台1・2
木田余東台3・4・5
木田余西台
若松町
東都和

川島 一男
南川幸之進
櫻井 光市
糟谷 邦弘
鈴木 雅美
吉田 俊夫

市民委員会専門部事業

参加報告

スポーツ健康部
バスハイキング事業

「千葉県鋸山ハイキング」

海野 孝

6月19日(水)、総勢74名が2台のバスで6時30分公民館を出発し、10時に目的地に到着。

当日は雨が心配され、私も登山用雨具を持って、スタートしました。日本寺大仏(座像としては日本一)や千五百羅漢などのお参りをしたり、展望台から東京湾(残念ながら富士山は見えず)などを眺めたり約2時間、楽しみながら歩きました。歩くコースは階段が多く、帰宅してから足が痛く(2日後に)なりましたが、程よい運動となりました。

ハイキングの後は、楽しみにしていたホテルでの昼食・入浴タイムとなりました。昼食は和食・洋食・中華料理のハイキングで、いろいろな味を楽しむことができました。そして入浴。浴場に入っぴつくり、迷子になりそうな位広い浴場で、お風呂も10数種類(海に面した露天風呂、金銀の風呂等々)あり、私もたっぷ

り時間をかけて、入浴を堪能しました。

帰りには少々雨が降ってきましたが、バスの中でもいろいろな方とお話ができ、楽しい一日となりました。

このようなハイキングの企画運営にあたられたスポーツ健康部、公民館のスタッフの皆様には、当日もいろいろとご配慮いただき、ありがとうございました。

秋にも企画があるとのこと、楽しみにしております。



合同視察研修

「和船」に乗船 楽しい研修

福祉部 久松 けい子

2月17日実施されました市民委員会合同視察研修会に参加致しました。研修先は江東区の横十軒川において伝統的な手漕ぎ船の操縦法を現在も継続されている「和船友の会」の活動状況でした。

当日は天候にも恵まれ「和船」に乗船しなごやかな雰囲気の中で、友の会の皆様方に、横十軒川から見る自然を案内していただきました。

なかでもお花見時には大勢の人々が訪れ「和船乗船も順番待ちですよ」と笑顔で話された言葉が印象的でした。「和船友の会」には男女問わず大勢の人々が参加、長い間続けてきたこの活動を維持することで地域の活性化を計りたいと話される会長のお言葉に頭が下がりました。

昼食後は隣接する東京スカイツリーの地元、墨田区の川や運河とともに歩んできた歴史を墨田区街歩きガイドさんに案内され研修しました。

日々変わる環境に適応しながら長く続けられてきた歴史を守り続けて

いく事の大切さと、それに伴う苦勞話を同時に傾聴することが出来ました。

墨田区周辺も、世界一を誇る東京スカイツリーの魅力にポイントをおき街並みも整備され、人々の流れも大きく変わっていました。

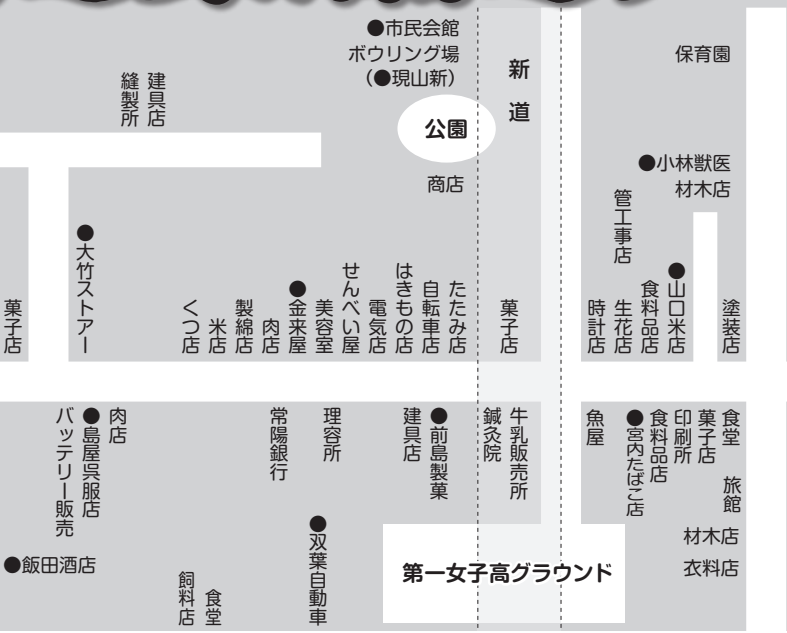
変化する環境に対応しながらこれ迄築いてきた地域の歴史を守り続けていくためには、官民一体の共同体制が今後益々不可欠になるものと実感できた研修でした。



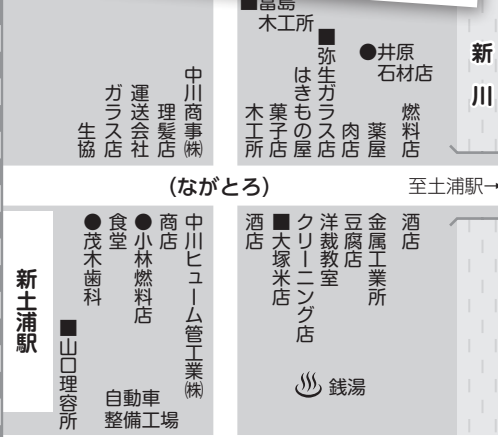
筑波鉄道さよなら列車



道真鍋宿通り



(水戸街道)



(ながとろ)

真鍋宿通り「ながとろ」。新川を渡り、真鍋一丁目地内に入ると拡幅道路が関東鉄道本社前まで続く。戦

旧水戸街道は、江戸時代に水戸徳川家が江戸城に登城するために整備した幹線道路です。真鍋宿であったところは現在の真鍋一丁目から三丁目の宿通りにあたり、昭和三十年から四十年代には、たくさんの商店が軒を連ねて賑やかな商店街でした。

その頃の住宅地図を基に、当時の思い出話とともに再現してみました。今ではほとんど車での通過場所ですが、そんな商店街を想像して通ってみてはいかがでしょうか。当時を知る方には、懐かしい事でしょう。

注意 年代が昭和三十年から四十年代とおおまかな設定のため、記載した商店が無かったり、あっても別の商売になっている場合もあります。地図には当時の商店のみを書き出しました。新しい商店、会社等は記載していません。敷地場所の多少のずれはご容赦ください。

●印 当時より現在もその場所で営業中の商店、会社等

■印 同町内で場所移転して現在営業中の商店等

(真鍋一丁目 小林 巖さん)

関東鉄道70年史によると、昭和30年代は神武景気とオリンピック開催により主要都市での住宅整備、高校、大学等の建設が多くなった。筑波線の利用客の増加に伴い昭和34年6月、立地上不便な旧真鍋駅を廃止、旧水戸街道と新国道(旧国道6号線)との間に新土浦駅を開業し、利便向上を図り、通勤や通学の人で賑やかになった。昭和62年3月筑波線が廃止、県により自転車専用道路になり、現在は当時のホームのみが残され、多くの鉄道ファン等の思いをはせている。

陸前浜街道として栄えた真鍋宿通りは、昭和30年代初めは砂利道で隣郡部より荷を積んだ馬車も時々見かけられた。当時は筑波鉄道と宿通りも通っていた路線バスを利用して旧新治筑波方面、旧出島方面よりお客様が買物、娯楽にと土浦まで来なければ用を足せなかった時代である。そんな事で宿通りもあらゆる種類の店が軒を並べて栄えていた。現在は車社会となり郊外へ店がで

(真鍋三丁目 菊間 謙一さん)

真鍋坂下四ツ角▼

(鎌倉街道)

●鹿島神社



豆腐屋

■岩松獣医

菓子店

酒屋
製麵所
蚕種業

石油店
タバコ店

ベーカリー
米屋

魚屋
青果店
鉄工所
菓子店
味噌店

商店

靴店

飲料店
自動車商会
タクシー
鶏肉店
薬局
せともの店
荒物屋
薬局

●さきこ
美容室

●木村食品

●土浦月星販売株

金物店
種店
理髪店

●植木酒店
バッテリー販売
クリーニング店
食料品店
洋服店

菓子店
食料品店
茶店

食料品店
雑貨店
燃料店

旧国道6号線

旧水戸街道

⊗

▲真鍋小学校入口



後間もなく地元代議士の肝煎で整備されたと聞く。筑波線が廃線となり、商店街の活性化が失せても、拡幅ある道路ゾーンは厳然とあり、人々に落ち着きとゆとりを与えてくれる。そこは、癒しまでも覚えてしまう。貴重な存在である。このようなゆとりのある道路ゾーンは土浦市内では見受けられない。真鍋の自慢の種かも！

(真鍋一丁目 櫻井 芳賢さん)

昭和30年頃の真鍋まつりは、9月8・9・10日に行われていました。宿南、宿北が合体しての南區、中央、西、東の5町内で山車・獅子を真鍋中で巡行させておりました。小学校は二期の初めで、祭礼実施の町内の子供達は皆早退する事が出来て、まつりに参加しておりました。まつりのハイライトである競演は当番町のお膝元で行われ、真鍋台は一高前の丁字路、南區は筑波線踏切前の四ツ角で、中央・西真鍋・東真鍋は坂下で、余興の「演出物」を向かい合わせ、梯子や花火等を駆使して盛大に真鍋の夜を彩ったものでした。昭和50年5月に第三次住居表示変更で真鍋町が9町内となり、これを契機に昭和52年に9町内参加のまつりが復活し、開催日を8月最後の金土日に変更して継続されています。

(真鍋一丁目 山口 卓三さん)

の流れも大きく変わってしまった。

(真鍋三丁目 小島 利夫さん)

思いがけなく終戦前の子供の頃の旧真鍋宿通りを振り返る機会になり懐かしくなりました。当時は馬車が貨物輸送の主役であった事、子供相手の駄菓子屋が数軒あった事、暮らしのすべてがこの宿通りの商店で購入できた事等々、思い出すと数限りなく浮かんできます。現在の姿とは隔世の感があります。時代の流れをしみじみと味わわせて頂きました。ありがとうございました。

(真鍋三丁目 中根 茂さん)

鎌倉街道▼鎌倉時代に「いざ鎌倉」で整備された各地より鎌倉に至る騎馬道の総称で、この付近では中貫から赤池側を通り真鍋小学校の裏手から南側の細い石段(鎌倉坂)を下り、市民会館に近い所から新川橋やや北を行き、土浦二高裏から田中八幡方面に向かっていた。
ながとろ(ながとろ)▼明治時代頃から使われていた真鍋一丁目の通りの呼び名。

旧水戸街道▼現在の旧国道6号線を水戸街道と呼び、そこから離れた昔の街道を旧水戸街道と言う。

陸前浜街道▼明治時代以降、水戸街道と水戸以北の磐城(石城)街道をまとめて陸前浜街道と扱われた。

参考「むかしの写真土浦」

「土浦町内誌」市教育委員会 他

前期講座

受講生からの声

楽しい太極拳

瀬戸 千穂

中国語の「你好」の挨拶で始まり、「再見」で終わる。初めての太極拳に挑みました。

日頃の運動不足を感じていた時、この講座に出会いました。二十四の型の半分を練習するという内容でしたが、想像以上に難しく思うように身体が動きません。一つ一つは見様見真似でなんとかなりました。しかし続けた運動になると太極拳の動きとは程遠いものでした。「大丈夫ですよ ゆっくり覚えていけばいいですよ」と先生に励まされ、またや



る気が出て頑張れました。

毎回講座が終わると、何となく身体が軽くなって、気持ちも明るくなりました。「継続は力なり」これからも気長に続けていきたいと思えます。この講座と、皆さんに出会えたことに「謝々」。

「庭づくりのイベント」に参加して

船沢 泰子



始めに寄せ植えする材料について説明を受けました。

次に公民館の庭に出て、花壇に花を植える実習でした。花の高さ、色、大きさ等を、どのように配置すれば良いのか、先生の的確な御指導により、「カラーリーフ花壇」「ハーブ花

壇」と、次々にとてもきれいに出来上がりました。

教室に戻って、各自寄せ植えに挑戦。肥料のやり方、水のやり方、いろいろな質問と、先生のお答えから盛り沢山の知識を吸収出来ました。

本講座に参加して、有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

「山ガール」に参加して

坂本 純一

二中地区公民館講座「山ガール」へ二日間参加させていただきました。場所は、北茨城市の栄蔵室と里美村の三鈴室でした。両日とも天気は曇り、山登りには最適なコンディションとなりました。

急な斜面や危険な箇所は少なく、比較的ゆったりとしたペースだったので、おしゃべりしたり山野草を教わったりして楽しかったです。

ツアーガイド役の加藤先生より、歩き方の基本から、いざという時の応急手当に至るまでいろいろ教わり、とても勉強になりました。中でも普及が進むスマートフォンによるGPSの活用はとても便利で面白かったです。

山登りは歩き方やペース配分を間違えなければ、とても健康的で楽し

いスポーツなのだと思いました。ぜひまた次回も参加したいです。最後に、一緒に歩いてくれた皆様ありがとうございました。



「納豆とワインの話」を聞いて

土屋 澄子

一日目は納豆講座で、原材料の大豆や納豆菌について、七つのテーマの講義を受けました。製造・食文化・成分・栄養・生理作用・調理・加工等、又海外の類似食品についても科学的分野からの講義もありました。

納豆は発酵食品の代表的なもので、蒸煮した大豆に菌が繁殖して納豆になるが、1g中に納豆菌が10億個以上存在するとの事に驚きました。食べるとキナーゼが働き、整腸作用により便秘しない程度の知識しかありませんでしたが、イソフラボ



ンの作用で、骨粗鬆症、乳ガン、前立腺ガン、循環器系疾病等の予防、又納豆菌がビタミンK2を大量に生成している事等、改めて納豆の奥深さを感じました。

二日目のワイン講座。ワインは、ピンからキリまであります。世界のワインの歴史説明では、ブドウをつぶしてガラスビン等の容器に入れておけばブドウの原種が落ちて自然に発酵しワインが出来ます。リッチな気分が味わっていた私は先生の一声「高級ワインもそれなりのワインも同じですよ」に納得しました。参加賞の納豆は一味違った美味しさで、発酵食品の知識が深まり、為になったひと時でした。



チャレンジクラブの活動

◆うどん作りと野外活動

真小五年 井上 瑠渚るろな

わたしたちは、白浜少年自然の家で、うどん作りとミニオリエンテーリングをしました。

うどん作りでは、先生が手ぎわよくていねいに教えてくれたので、とてもおいしいうどんができました。それに、わたしたちの二はんがいちばんさいしょに食べることができたのでうれしかったです。また機会があったら、うどんを作りたいです。

ミニオリエンテーリングでは、花の名前を見つける花コースでした。山道では、見たことのない赤い虫がいたので、びっくりしました。わたしたちのはんは四位だったけれど、いろいろな花の名前を知ることができたので、うれしかったです。

楽しかったうどん作りと野外活動は、最高の思い出になりました。

◆楽しかったうどん作り

真小六年 瀬島 暖史なつみ

ぼくは、第二回チャレンジクラブでうどん作りをやりました。うどん作りは家でもしたことがあります。家では、あまり長いめんを

作ることができません。

このチャレンジクラブでは、とても長いめんを作ることができて、とてもうれしかったです。また、太いめんや細いめんなど、ばらつきがありました。大きい失敗もなく、おいしくでき上がってよかったです。

オリエンテーリングでは、みんな第一位をとれるようにがんばりましたが二位でした。それでも、景品がもらえたのでとてもよかったです。

こういううどん作りをやって、またみんなで食べたいです。オリエンテーリングもすごく楽しかったです。



二中地区公民館管内 世帯数及び人口一覧

平成 25 年 4 月 1 日現在

土浦市全域 世帯数 62,512 戸 人口 145,843 人 (住民基本台帳を基にした人口です。外国人含む)

(人口単位：人)

町名	世帯	人口	男	女	町名	世帯	人口	男	女
真鍋一丁目	253	500	263	237	木田余町	653	1,450	740	710
真鍋二丁目	329	688	352	336	木田余東台一丁目	118	259	142	117
真鍋三丁目	233	493	234	259	木田余東台二丁目	273	595	314	281
真鍋四丁目	789	1,816	888	928	木田余東台三丁目	310	751	385	366
真鍋五丁目	352	757	370	387	木田余東台四丁目	298	656	341	315
真鍋六丁目	710	1,585	784	801	木田余東台五丁目	317	698	369	329
東真鍋町	583	1,322	680	642	木田余西台	406	856	425	431
西真鍋町	247	591	295	296	若松町	667	1,420	707	713
真鍋新町	542	978	468	510	東都和	197	529	259	270
殿里町	173	358	182	176	合計	7,450	16,302	8,198	8,104

町内ウォッチング

木田余東台サマーフェスティバル 実行委員会だより

去る8月11日(日)午後三時半より、木田余東台サマーフェスティバルが、同地区内のワークヒルの屋外、屋内を使用して開催されました。

当日は、高齢者から、お子さんまでの約六百名の方々が賑わいました。

屋外の「筑ドン太鼓」で幕明け。屋内の多目的ホールでの、マジックショー、バルーンアート作りでは、お子さんも大人もため息と歓声が上がリ、フラガールショーには拍手が



鳴りやまず。途中、つちまる君が登場すると、写真撮影やら歓声に、盛り上がりは最高潮へ。

屋外のテント内の模擬店では、かき氷や飲み物でのどの渴きを潤し、フランクフルト、焼きそば、きゅうり浅漬、更には沖縄料理（沖縄ドーナツ、タコライス）などで腹ごしらえしながら、皆さん、暑さの中、一夏の曾をワイワイガヤガヤ笑って楽しんで一日でした。

毎年八月第二週日曜日に開催するサマーフェスティバルは地域の一大イベントとして定着させていきたいと思えます。夏休みの一日を楽しくみんなで遊びましょう。



川柳 笑道師

- 孫が来て いないいないバア俺ジジイ
- やって来た 誰が来たのと一人ごと
- 増えたのは シワ化粧代 この脂肪
- ではまたね または二度ない今でしょ
- 年寄りには 誰と呼んでも振り向かず



七夕まつり



新着図書紹介

ソロモンの偽証Ⅱ

宮部みゆき

何者

朝井リョウ

55歳からのハローワーク 村上 龍

等伯 上下 安部龍太郎

冷血 上下 高村 薫

呑めば、都 マイク・モラスキー

ことり 小川洋子

土浦市民憲章

- 一、たがいに信じ 助けあう
- 一、あたたかいこころをそだてましょう
- 一、からだをきたえ 仕事にはげみあかるい家庭をきずきましょう
- 一、自然を愛し 水とみどりのきれいなまちをつくりましょう
- 一、知性を高め 教養をつちかひ文化のみのりをひろげましょう
- 一、伝統をふまえ 未来をみつめる若い力を のばしましょう

編集後記



この夏は、異常な暑さの中、熱中症にかかった方もたくさんおられました。人との出会いとつながりを深く感じたことと思えます。この「やすらぎ」を一服の清涼剤としていただければ幸甚です。